

地方創生に向けて目指すべき理想像

千葉県は首都圏にありながら豊かな緑や海、文化と優れた都市機能など様々な魅力があり、多様性社会の中で自分に合ったライフスタイルを実現できるリソースが多くあります。千葉県へ向かう人の流れをさらに加速していくためには、千葉県のもつ様々な魅力や可能性を伸ばし、千葉で暮らすことの価値の創造、すなわち「千葉らしいライフスタイルの創造」を図っていく必要があります。

デジタル技術の活用で

千葉らしいライフスタイルの創造

「人」が働き、活躍し、育み・育ち、暮らす！



ちがいがし
めくったページのイラストと
ちがうところを
7個さがしてみてね！

1 ほどよく、住みよく、シティライフ

都心に近く、自然環境や住環境、交通アクセスも良好



2 千葉で広がる！趣味に全開ライフ

サーフィン、各種レジャー、フェスなど趣味が楽しめる



3 千葉でのびのび子育てライフ

首都圏の中でも手頃な戸建価格
充実した医療、教育・保育施設



4 千葉で謳歌するセカンドライフ

温暖で住みやすい気候、医療機関や成田空港からの海外アクセスも良好



5 千葉でチャレンジ！スタートアップライフ

チャレンジしやすい起業支援環境の充実、人材の確保



6 千葉で育む、農業の新たな成功ライフ

生産量日本一も多い盛んな農業
都心への物流や輸出機能も魅力



4つの基本目標

働く 地域経済を活性化する環境づくり

活躍する 多様な人材が活躍できる社会づくり

育み・育つ 子育てしやすい社会づくり

暮らす 県民が暮らしやすい地域づくり

デジタル技術の活用

基本目標1

地域経済を活性化する環境づくり

働く



本県経済は、感染症の拡大によって生じた様々な環境の変化に加え、デジタル化の進展、脱炭素社会への取組などにより、社会経済の大きな変革を迎えています。

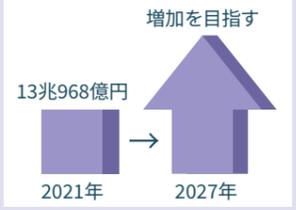
こうした中であっても、農林水産業や観光業との連携などにより、次世代に求められる総合力の高い産業を創出し、地域の新たな雇用につなげていくとともに、県内各地域の発展を目指し、新たな産業・地域づくりに向けて戦略的に取り組みます。

また、成田空港の更なる機能強化に合わせた地域の発展を促進するとともに、空港の利活用の促進や県内外との交通アクセスの更なる充実により、本県経済の活性化を目指します。

さらに、本県産業が持続的に発展するよう、商工業の経営基盤や農林水産業の生産基盤等の強化を図るとともに、将来を支える産業人材の確保・育成を進めます。

数値目標

県内製造品出荷額等



県内年間商品販売額



農業産出額



- 1 未来を支える産業の振興**
 - 本県の特徴を生かした企業誘致の推進
 - 産業用地の確保
- 2 京葉臨海コンビナートの競争力強化**
 - 京葉臨海コンビナートの生産性向上や事業環境の改善
 - コンビナートを支える人材の能力向上や担い手の育成
 - カーボンニュートラルコンビナートの推進
- 3 環境保全と経済成長の好循環の創出**
 - 再生可能エネルギー等の活用促進
 - 省エネルギーの促進
- 4 中小企業の活性化支援**
 - 中小企業の経営基盤強化
 - 中小企業等の人材確保
 - 産業人材の育成支援
 - 中小企業のDX推進
- 5 地域の創意工夫による経済活性化の取組の促進**
 - 地域資源の活用、ブランド化の推進
 - 起業・創業の促進
 - 商店街の活性化支援
- 6 力強い農林水産業の確立**
 - 次世代を担う人材の育成・確保
 - 農林水産業の成長力の強化
 - スマート農林水産業の加速化
- 7 千葉の強みを生かした観光地の整備**
 - 魅力ある観光地づくり
 - 観光産業の競争力強化
 - 国内観光プロモーションの展開
 - インバウンドの推進
 - デジタルを活用した観光振興
- 8 地域と空港の発展が好循環する地域づくり**
 - 成田空港を支える人材の確保を起点とした地域づくり
 - 成田空港周辺地域における国際的な産業拠点の形成
 - 更なる機能強化を見据えた成田空港の利活用の促進と人・モノの流れの取り込み

千葉らしいライフ

「人」が働き、活躍し



基本目標2

多様な人材が活躍できる社会づくり

活躍する



様々な人が本県に住み、訪れ、連携・協力していくことにより、相互作用や相乗効果を生み出し、社会経済の活力、創造性を高めていくことができると考えられることから、将来にわたって活力ある千葉県を維持していくためには、様々な人を千葉県に呼び込み、その人が活躍できるようにすることが重要です。

このため、本県の大きな課題である半島性の克服のため、交通ネットワークの充実を図ることで、千葉に向かう「人・モノ・財」の流れをより一層大きくしていくとともに、デジタル環境の整備状況を踏まえ、移住・二地域居住やテレワーク・ワーケーションなどの取組を進めることで、多様な人材が集う環境を整えます。

また、千葉県に集まった人々が十分に活躍できるよう、年齢・性別・障害の有無、国籍及び文化的背景、性的指向及び性自認などの多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現を図る様々な取組を進めていきます。

数値目標

人口の社会増



ダイバーシティという考え方を知っている県民の割合



- 1 多様な人材が集う環境の整備**
 - 移住・二地域居住の促進
 - 若者の定着支援
 - テレワーク・ワーケーション等の推進
 - 地域のブランド化の推進
 - 空き家の適切な維持管理・流通・活用の促進
- 2 半島性を克服する交通ネットワークの強化**
 - 高規格幹線道路の整備促進
 - アクアラインの更なる効果の発揮
 - 国道・県道のバイパス・現道拡幅等の整備推進
 - 港湾の整備・振興
- 3 誰もが活躍できる社会の実現**
 - 多様性を尊重し、誰もが活躍できる取組の推進
 - 多様な人材の就労支援
 - 多様性を尊重する意識の醸成
- 4 誰もが学び・学び直しができる社会の実現**
 - リカレント教育・リスキリングの推進
 - 生涯学習の充実
- 5 様々な人材が参画できる地域コミュニティの実現**
 - 若者、高齢者、地元企業等の地域活動の参加促進
 - SDGsの考え方の理解促進

